

## 菊池寛

スペイン風邪の感染を恐れて当時誰もつけていなかったマスクを決して離さない。



## 逃げる！芥川

作…畑澤聖悟  
演出…西川信廣

文学座公演

## 芥川龍之介

すでに2度感染し、辞世の句まで書いていたが回復。



## 二人の文学者と二人の俳優

撮影：宮川舞子

大正の文学者が見た100年前のパンデミック「スペイン風邪」を通して、人類と病原菌との闘いを俯瞰し、現代社会をあぶりだす本作。主人公は、実際に親友同士であった芥川龍之介と菊池寛。この二人を演じるのは、文学座の同期でもある若松泰弘さんと瀬戸口郁さんです。今回はお二人と、演出の西川さんへのインタビューを通して、登場人物やそれを演じる俳優の魅力、芝居の面白さに迫ります。

## STORY

1919年(大正8年)芥川と菊池は長崎旅行に出かけた。この時期に世界的に大流行した「スペイン風邪」感染を恐れての逃避行だ。舞台は長崎への列車の中。そこに「鼻」の和尚、「蜘蛛の糸」のカンダタ、おまけに「河童」の河童、そして与謝野晶子や芥川を取り巻く女たちまで乗り込んできて……。舞台はまるで「銀河鉄道の夜」の様相をおびてくる。

## 瀬戸口郁さんにお聞きしました！

## 1. 菊池寛を演じるポイントは？

将来お金持ちになる人に見えること。

## 2. 菊池の魅力はどんなところですか？

ロマンチストなのにリアリスト。ものが見えすぎてしまう哀しみを背負って生きた方ではないかと想像しています。

## 3. 役作りでどんな準備をされますか？

タフガイ文士。まずは体を鍛えます。

## 4. 瀬戸口さんからみた若松さんは？

阪急ブレーブスをこよなく愛す登山野郎。芝居にこやかましい同期(29期)。

## 5. 若松さんとの共演で楽しみにしていることは？

彼とは長い付き合いですが、板の上(舞台)でほとんどからんだことがないので、私たちはずっと文学座で傍にいながら、お互い別々の世界で生きてきたんです。彼と芝居をすると、これまでのお互いの「生」の時間も含めて何だか不思議な感覚を味わうことになりそうで、そこが楽しみです。



誕生日 7月16日  
出身地 山口県  
好きな食べ物 季節の旬を味わえる料理  
趣味 海で遊ぶ、ドライブ、俳句

## 若松泰弘さんにお聞きしました！

## 1. 芥川を演じるポイントは？

今のところ、西川氏とは「髪型は似せようか」などと話し合っており髪をつけるかもしれません。笑。

## 2. 芥川の魅力はどんなところですか？

文学にありがちな内へ内へと、ぐーっとはいっていきばかりではなく、ズバツと外へ向かって開かれている所。

## 3. 役作りでどんな準備をされますか？

人柄に触れるような何気ないエピソードなど探してみつもりです。

## 4. 若松さんからみた瀬戸口さんは？

しっかり自分を持っていて、少々では揺るがない強さがある。私とは正反対。

## 5. 瀬戸口さんとの共演で楽しみにしていることは？

根っことは同じなのですが、演技の上でもしっかりとした彼と、半ばいい加減な私との取り合わせ。どんな幹になりどんな実がなるのか楽しみです。



誕生日 9月26日  
出身地 大阪府  
好きな食べ物 天ぷらそば  
趣味 登山

## 二人のウィットに富んだセリフ劇に期待

文学座演出家・西川信廣さんに聞く、作品のみどころと瀬戸口さん・若松さん両氏の魅力

## 1 物語の着想はどこから？作品のねらいを教えてください。

アイデアは今回の脚本・畑澤さんとの話し合いの中で生まれました。菊池と芥川が当時流行ったスペイン風邪から逃げようとして長崎に向かったという史実があります。それは新型コロナウイルスの脅威の中で右往左往した私たちと重なります。また、畑澤さんは閉ざされた空間の中で人間模様を描くことに秀でた方ですので、列車という閉ざされた空間で二人の現実、非現実が錯綜するファンタジックな世界にしたいと思っています。

## 2 瀬戸口さん、若松さんに期待しているところ

二人は研究所の同期生です。仲間であると同時に良きライバルです。菊池も芥川も第一高等学校の同級生以来の付き合いで、芥川の葬儀には菊池が弔辞を読むほどの仲だった。そして、作家としてもライバルだったと思います。瀬戸口as菊池と若松as芥川のウィットに富んだセリフ劇を期待しています。